

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: [office@matsue-rotary.jp](mailto:office@matsue-rotary.jp)

## 第3181回例会(平成29年10月25日・水)

### 今週のプログラム

10月25日(水) ゲストスピーチ

「和の心、島根から世界へ」

フリーアナウンサー <sup>いしはらみわ</sup> 石原美和氏

### 次週のプログラム

11月1日(水) 会員スピーチ

「最近の空港事情とコンセッション化について」

出雲空港ターミナルビル(株)取締役管理部長 <sup>きののりひこ</sup> 紀野典彦氏

### 例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
10月25日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町杵築南1314)
10月27日(金)	米 子	ANAクラウンプラザホテル米子
10月30日(月)	米 子 南	ANAクラウンプラザホテル米子
10月31日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
11月15日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町杵築南1314)
11月20日(月)	米 子 南	ANAクラウンプラザホテル米子
11月24日(金)	米 子	ANAクラウンプラザホテル米子

10月1日より米子全日空ホテルは「ANAクラウンプラザホテル米子」にリブランド致しました。

### 2017年(平成29年)10月~11月の予定

10月18日(水) 職場訪問例会

島根原子力発電所3号機視察

10月21日(土)~22日(日) 地区大会

22日(日) 本会議 10:00~ 倉敷市民会館  
記念講演

徳川宗家19代目当主

翻訳家、政治・経済評論家

徳川家広氏

「関ヶ原から読み解く日本近代史  
~中国地方の徳川400年~」

懇親会 17:00~ 倉敷アイビスクエア

交通手段 松江4クラブ合同貸切バス

11月1日(水) 定例理事会

11月12日(日) 松江ロータリー秋季ゴルフコンペ

島根ゴルフ倶楽部(10時集合)

11月18日(土) 家族交流 秋の味覚を堪能する会・

新入会員歓迎会

場所: (株)暉祥 地のもの市場

時間: 16:00~

11月22日(水) 定款第8条による休会



本日のエレクトーン 松本悦子さん

## 第3180回例会記録

平成29年10月18日(水・曇り)

会員数 70名  
出席者数 41名  
欠席者数 29名  
出席率 66.13%(出席免除会員含む)  
前々回補正 91.80%(出席免除会員含む)

ビジター 木下(広島)

メーキャップ 今井(米子東)、波多野(米子南)、竹岡(平田)  
井上、後藤、藤井、藤本(松江しんじ湖)

## 会務報告

伊原会長

ビジター紹介

本日は職場訪問例会で島根原子力発電所3号機視察です。

森岡幹事

職場訪問例会について

食事を済ませバスで原子力発電所3号機を視察させて頂きます。

事前にお知らせ頂いた確認書類の原本のチェックを受けてください。

荷物のある方はバスの中でチェックを受けるかフロントへ預けてください。

10月22日(日)地区大会松江4クラブ貸切バスについて(時間厳守)

松江しんじ湖温泉 6時20分発

JR松江駅南口ユニバーサルホテル横 6時30分発

服装は上着、ネクタイ着用。

当日の緊急連絡は事務局携帯へ。

## 委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 勝部治委員長  
出席報告

松江ロータリー秋季ゴルフコンペ再度ご案内

家族交流 秋の味覚を堪能する会・新入会員歓迎会のご案内

## ニコニコ箱

7,000 円

伊原（職場訪問例会 中電さんお世話になります。）  
紀野（今日は原子力発電所視察という貴重な機会をいただき有難うございます。）  
佐藤尚、竹岡、谷口正（本日の職場訪問お世話になります。よろしくをお願いします。）  
原（妹尾さんお世話になります。）  
森岡（中国電力様、妹尾様本日はお世話になります。）

ベストメッセージ賞：該当者なし  
司会 原田会場監督

## 11月例会プログラム予定

- 11月 1 日（水） 会員スピーチ  
「最近の空港事情とコンセッション化について」  
出雲空港ターミナルビル(株)取締役管理部長 紀野典彦氏
- 11月 8 日（水） ゲストスピーチ  
「島根大学の『知の力』を活かして、世界の農業に貢献する  
～留学生を通じた発展途上国での植物保護技術の普及～」  
国立大学法人島根大学 生物資源科学部教授 上野 誠氏
- 11月15日（水） ゲストスピーチ  
「ポリオ撲滅への道 これまでとこれから」  
ポリオ撲滅第3ゾーンコーディネーター 松本祐二氏
- 11月22日（水） クラブ定款第8条による休会
- 11月29日（水） 会員スピーチ  
「ロータリー今昔物語」  
中村法律事務所 所長 中村寿夫氏

ひとこと  
随想

真のロータリアンとは



なが みち れつ し  
永 通 烈 志

松江R・C入会から早いもので30年。今もって至らざること甚だなる身ではあるが、それでも今日まで、多くの先達会員の親身なる薫陶のおかげでなんとかやってこれた…。そんな話を小林広報委員長としていたら、あるうことが本表題での寄稿依頼。

過重なる表題に、はてさてと困惑したが、先達会員からの今日まで受けた薫陶を考えればいささかの恩返しにも繋がるとも思い、30年の自省をこめて振り返りながら、私自身が思い描くロータリアン像を書いてみることにした。

ご縁を頂き、例会へ初出席したものの、席に着いた円卓には、米田盛造（第35代当年度会長）、松崎定夫（当時次年度当地区ガバナー）、野々村延（第4代会長）、田江武彦（第27代会長）大先達の面々。そっと会場を見渡せば、凛として重厚なる雰囲気にも更なる緊張感で、食事時の会話もどぎまぎ。例会終了時には退会願いをとまで考え込んだことを覚えている。38歳になったばかりの春だった。

それでも腹をすえて2回目の例会に臨んだ時、今や鬼籍に入られてしまったが、後に第43代会長を務められて、その時の幹事として仕えた井上喜弘会員に「今に体が慣れますから」と優しく声をかけて頂いたことで、なにかしら和らいた。なんとか頑張って出席しようと思った瞬間だった。

真のロータリアンとは...身近に多くの敬愛できる会員と交友できる機会に恵まれているわけだから、素直な気持ちで積極的に吸収する努力...できる、できないはともかく、あこがれのゴルファーのスウィングをイメージするように時をかけてロータリアン像を自分流に描いて、私なりに探求し

てきたつもりだ。奉仕の精神とか、思いやり、職業人としての倫理観等々、自分なりに感じとり、少しずつ醸成されるのではなからうか。毎週の例会が大切だといわれている所以なのであろう。

私の場合は未熟が幸いして多くの先達会員どころか、入会間もない若い会員からも学ぶことが多かったように思う。中でも、これまた鬼籍に入ってしまった同郷の大先輩でもある田江武彦会員とのやりとりが思い出深い。田江会員は当時、ミスターロータリーと言われたほどで、私が会場監督の時など、例会終了後に進行、表現等々注意というか、よく叱責を受けたものだ。例会外でも「ロータリアンたるもの...」等々。ただいつも極めて愛情溢れるものであり、公私ともに叱責も受けたが、心から励ましてもらったのが今では懐かしい。

そんなこんなの中で、自分の中に芽生えた目標というか、心意気というか、折にふれて意識している言葉がある。

石田禮助国鉄第5代総裁の国会での自己紹介の言葉。「粗にして野ではあるが、卑にあらざる」

今の私にはあこがれの域であり、ほど遠き目標でもある。凜として飄としたたはずまい...私自身の思い描くロータリアン像である。

真のロータリアン...それは、それぞれにゆっくり、じっくり、時をかけて探求し、感じとったそのものではなからうか。

今更ながらに、ある先達会員の言葉が重く感じられる。「ロータリーは道場ですよ。今ひとつロータリー情報委員長の時に知った、伊丹R・C深川純一氏（'90～'91第268地区ガバナー）の弁。「夜の懇親も大切ではあるが、毎週の例会での会員相互のなにげない親睦こそが、ロータリーの何ぞやを自分自身で感じ取る良き場ですよ。せっかくの良き会友との交流...故に出席と親睦を重んじるのではないのでしょうか」

要領を得ない文面になりましたが、ロータリーを、そして自省をこめて自分自身みつめなおす機会を与えられたことに感謝です。

（乾海苔販売）



## 職場訪問例会

「島根原子力発電所3号機視察」



10月18日(水) 職業奉仕委員会

## 2017-2018年度 地区大会

10月22日(日)  
於：倉敷市民会館



## 松江ロータリークラブ

我がクラブの親睦活動 会員数約300名(中学生とともに)一年を通じて登山、読書会、義売打ち、そして  
穴道湖の幸を食べる会等楽しい時間を共有し、ながら活動を行っています。

### 「蕎麦処 ロータリ庵 蕎麦打ちの会」

毎年、新蕎麦の時期に家族交流会「蕎麦打ちの会」を開催しています。  
西村議員の御案内のもと、会員家族の皆さんと地元の人様とで、賑々たる新蕎麦打ち、その場で茹でたてを食べています。  
※1回から参加している会員もいまでは新蕎麦の会員が大勢となりました。早稲作の「新蕎麦打ち」の会員も山梨の北文化会館で開催されています。  
明年では蕎麦打ち体験は11月20日に開催します。



### 「穴道湖の幸を食べる会」

名産の通り、穴道湖の七草のステーキ、ウナギ、シラス、ブラス堂製のかき揚げ、雑穀の会(11月)の地元産の穴道湖から産出した魚を食べています。また、多くの魚を獲るには網を多めにしておく必要があるとか。  
朝日会員の自宅でお元気の備わった新鮮な魚をみんなに買った心のこもった料理とおいしい地元の酒、そして会員が持ち寄る全国各地の漬物も楽しみの一つです。  
松江に食んでいても最近穴道湖の魚を口にすることが難しい時代になってきていますので毎年感謝しながら開催しています。

### 「ジャガイモの収穫&バーベキュー&ピザを作って食べる会」

この日は2017年「アサヒ農業体験ジャガイモ祭り」からスタートし、今では自分たちで育てながら収穫を楽しむ会へと発展してきました。  
収穫後自宅の大きな袋詰めの一斉をお借りして、みんなで焼きたジャガイモ、天婦羅など収穫時期に合わせてお楽しみにあまじい焼酎をいただきます。  
そして今年の年には丸餅がどのようにでき家飲み会でも参加者全員にスーパーで売られている餅の太さの丸餅を配りました。



出番待ちの  
大塚!



大塚にピントが  
あっています!